

2020 年度 授業評価アンケート報告書

京都大学大学院 教育学研究科

2021 年度 自己点検・評価委員会

■ 1. はじめに

2020 年度の前期および後期に、教育学部・教育学研究科において実施された、「授業評価アンケート」の報告をいたします。本学部・研究科の学部生・大学院生による授業評価は、2005 年度から実施され、さまざまな検討と改訂を繰り返しながら、現在まで継続的に実施されています。以前は、前期・後期にそれぞれ 200 以上開講されている科目のなかから、講義・演習・ゼミナール等の授業タイプ別にいくつかの科目をピックアップして評価対象としていましたが、2014 年度からは、本学部・研究科が提供するすべての科目を評価の対象としています。

アンケートの内容は、開始当初のものと現在のものでは大きく異なりますが、本学部・研究科における授業評価アンケート実施に関する基本的な考え方は変わっていません。第一に、授業評価一般がそうであるように、本授業評価は、授業の改善を目的としています。しかし、本学部・研究科の研究の対象が「教育」であることから、本学部・研究科の学部生・大学院生による授業評価には、もう一つ別の期待が加わることとなります。それは、学部生・大学院生が、評価とは何か、その対象となる教育や授業とは何かを自ら考え、反省し、その過程で評価の力を涵養すること、そして、そうして培われた評価の力をもってなされた評価によって、教員が自らの教育について理論と実践のあり方を「再形成」していくという期待です。このことは、2005 年度の授業評価報告書に記されています。2020 年度の授業評価アンケートは、基本的に、2019 年度のを踏襲しています。前回同様、「シラバスの活用」と「学習時間」に重点を置くとともに、上記の趣旨をふまえ、「学習の達成度」に関する自己評価を求めています。

■ 2. 授業評価アンケートの内容と実施方法

§2.1 「授業評価アンケート」の構造

「授業評価アンケート」は大きく以下の4つの部分に分かれている。最後に「授業の感想」を自由記述で求めているが、この部分は担当教員に個別にフィードバックを行っており、本項およびp. 5～の「授業アンケートの結果」には含めないものとする。

1. シラバスの活用状況について：

- (1) シラバスを活用したどうか、活用した場合には、どのような用途だったのか選択肢によって回答。
- (2) シラバスの情報は十分なものだったか、十分でなかった場合には、どのような理由だったのか選択肢によって回答。

2. 学習時間について

- (1) 当該科目の出席回数を選択肢によって回答。
- (2) 当該科目に係る予習・復習、宿題・課題等を行った時間を1週間当たりの平均で選択肢によって回答。

3. 学習の達成度について

- (1) 当該科目の到達目標に照らして達成できたかどうか、自己評価を選択肢によって回答。
- (2) 学習の達成度が「達成できなかった」又は「やや達成できなかった」の場合、達成できなかった理由を、選択肢により回答。
- (3) 効果的だった学習活動についての自由記述。

4. 授業の内容・満足度について

- (1) 授業の内容・満足度について選択肢によって回答。
- (2) 当該科目の全体として満足度を選択肢によって回答。

§2.2 実施した授業科目

教育学部・教育学研究科が提供するすべての科目（科目数は以下の通り）

学部：前期 110、後期 126

大学院：前期 94、後期 88

§2.3 実施した対象者

授業に出席した学生・大学院生・科目等履修生（履修者数および回答者数は 次の通り）

履修者数 学部：前期 2439、後期 2665

大学院：前期 648、後期 664

回答者数 学部：前期 484、後期 407

大学院：前期 153、後期 126

§2.4 実施した日程

前期：2020年7月8日（水）～9月11日（金）

後期：2021年1月6日（水）～2月15日（月）

§2.5 具体的な実施手順

1. 授業アンケートシステム・KULIQS による回答を求めた。
2. 原則として、最終授業日または試験時に教室等で実施した（諸事情により教室等で実施できなかった場合、授業連絡メールで回答を促した）。
3. 「個人が特定されないこと」、「成績評価に影響しないこと」を伝えた後、以下の教示文を参考に実施した。

《教示文》

「これから授業評価アンケートを実施します。スマートフォン、ノート又はタブレット型パソコンを持っている方は、準備してください。持っていない方は、授業後できるだけすぐに、サテライトや自宅のパソコンからアンケートに答えてください。」「このアンケートは、授業について受講者の皆さんからの意見を聴き、授業・教育環境の改善 に役立てようとするためのものです。このアンケートは無記名方式であり、“誰がどのように答えた”などは特定されません。また、回答内容があなたの成績などの評価に影響することは一切ありませんので、率直なご意見をお願いします。」「アンケートシステムには **KULASIS** トップページのアンケートボタンよりログインし、この授業の科目名を選択してください。なお、この科目の科目名は“*****”担当教員名は“*****”ですので、間違えずに選択してください。」「また、このアンケートにはシラバスに関する事項がありますので、適宜 **KULASIS** でこの科目のシラバスを確認してください。」

■ 3. 授業評価アンケートの結果

§3.1 設問の内容

実際の設問番号とその内容は以下の通り。

(Q.01～Q.04) 所属学部（研究科）、学年

(Q.05) シラバスを活用(使用)しましたか。(オンライン授業の導入に伴い、文書・口頭によりシラバス情報の変更が周知された場合には、変更後の情報を含めて回答してください。)

A: はい

B: 「いいえ」又は「どちらともいえない」

(Q.06) Q.05 で「はい」と答えた方は、理由を以下より選択してください。(複数選択可)

A: 科目選択・履修登録に活用

B: 予習・復習に活用

C: 受講にあたり授業中などに活用

D: 試験・レポートに活用

E: その他

(Q.07) シラバスの情報は十分なものでしたか。(シラバス活用の有無等に係わらず回答してください。)(オンライン授業の導入に伴い、文書・口頭によりシラバス情報の変更が周知された場合には、変更後の情報を含めて回答してください。)

A: はい

B: いいえ

(Q.08) Q.07 で「いいえ」と答えた方は、理由を以下より選択してください。(複数選択可)

A: 「授業の概要・目的」の情報が不十分

B: 「到達目標」の情報が不十分

C: 「授業計画と内容」の情報が不十分

D: 「履修要件」の情報が不十分

E: 「成績評価の方法・観点及び達成度」の情報が不十分

F: 「教科書」及び「参考書等」の情報が不十分

G: 「その他」の情報が不十分

(Q.09) シラバスに記載してほしかった情報等があれば自由に記述してください。

(Q.10) 当該科目の授業出席回数 (%) を記載してください。

(注)「授業に出席した時間」と「授業外学習時間」の区別がしづらい場合には、1週間当たり 1.5 時間分を「授業に出席した時間」とみなしてください。

0～19%程度/20～39%程度/40～59%程度/60～79%程度/80～99%程度/100%

(Q.11) 当該科目に係る予習・復習、宿題・課題等を行った合計の時間（学期を通じた 1 週間当たりの平均値）を記載してください。「授業に出席した時間」と「授業外学習時間」の区別がしづらい場合には、1週間当たり 1.5 時間分を「授業に出席した時間」、それ以外を「授業外学習時間」とみなしてください。

A: 3 時間以上

B: 2 時間以上 3 時間未満

C: 1 時間以上 2 時間未満

D: 0.5 時間以上 1 時間未満

E: 0.5 時間未満

(Q.12) この授業の到達目標に照らして達成できたかどうか、ご自身の判断を以下より 1 つ選択してください。

A: 十分達成（目安:概ね 9 割以上達成）

B: ほぼ達成（目安:概ね 8 割以上～9 割未満達成）

C: やや達成できなかった（目安:概ね 6 割以上～8 割未満達成）

D: 達成できなかった（目安:概ね 6 割未満達成）

E: どちらともいえない（判断できない）

(Q.13) 学習の達成度が「達成できなかった」又は「やや達成できなかった」の場合は、達成できなかった理由を、以下より選択してください。（複数選択可）

A: 授業の進度が速かったため

B: 予習・復習に十分時間を取ることができなかったため

C: 説明がわかりにくかったため

D: 特になし

E: その他

(Q.14) 効果的だった学習活動（例:講義、予習・復習又はグループ討論など）があれば、自由に記載してください。

(Q.15) この授業でよかった点を選択してください。(複数選択可)

- A: 授業に意欲的に参加できる工夫がされていた
- B: 授業に対する教員の熱意が感じられた
- C: 授業は体系的であり、よくまとまっていた
- D: 授業はシラバスに沿って授業が行われていた
- E: 教員の声はよく聞き取れた
- F: 板書の文字や機器による提示が見やすかった
- G: 教材(教科書・配付資料等)は適切だった
- H: 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められていた
- I: 自主的な学習を促すための工夫や補足説明があった
- J: この授業を通じて、知的な問題に取り組む力が向上した
- K: その他

(Q.16) この授業は全体として満足できる内容でしたか。

- A: 十分満足
- B: ほぼ満足
- C: どちらともいえない(判断できない)
- D: やや不満
- E: 不満

(Q.17) この授業を振り返って、特に勉強になった・参考になったという点や自分自身の今後の課題などがあれば書いてください。

(Q.18) 授業の内容・方法などについて改善してほしい点、その他、授業環境や教室設備などについて要望があれば書いてください。

§3.2 結果の構造

以下では、授業評価アンケートの結果を、設問ごとに報告する。なお、Q.09、Q.14、Q.17、Q.18 は自由記述のため、担当教員にのみフィードバックを行い、ここには記載していない。集計は、比較しやすいよう、開講期別に、学部の授業と大学院の授業を分けて行った。

§3.3 データの集計結果

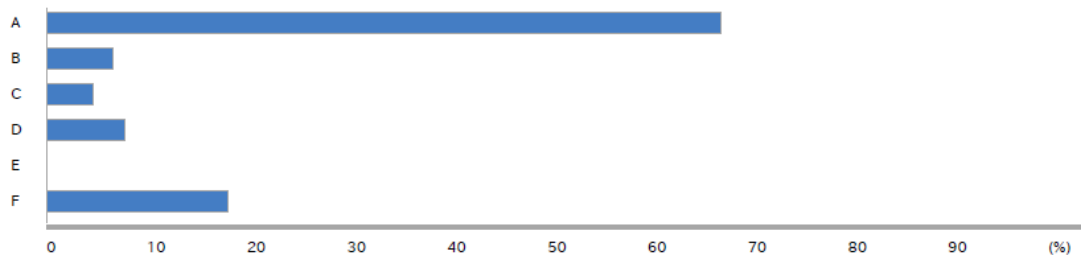
Q05 Q06

学部 前期

- (Q.05) シラバスを活用（使用）しましたか。
(オンライン授業の導入に伴い、文書・口頭によりシラバス情報の変更が周知された場合には、変更後の情報を含めて回答してください)
- A: はい (386票/79.8%)
B: 「いいえ」又は「どちらともいえない」 (93票/19.2%)
C: 無回答 (5票/1%)



- (Q.06) Q.05で「はい」と答えた方は、理由を以下より選択してください。(複数選択可)
- A: 科目選択・履修登録に活用 (370票/64.5%)
B: 予習・復習に活用 (36票/6.3%)
C: 受講にあたり授業中などに活用 (25票/4.4%)
D: 試験・レポートに活用 (43票/7.5%)
E: その他 (0票/0%)
F: 無回答 (100票/17.4%)

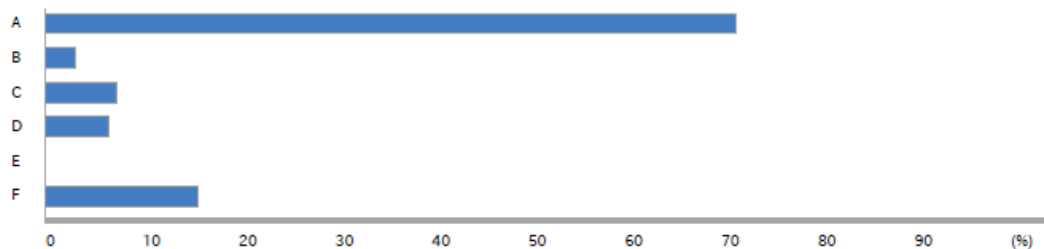


学部 後期

- (Q.05) シラバスを活用（使用）しましたか。
(オンライン授業の導入に伴い、文書・口頭によりシラバス情報の変更が周知された場合には、変更後の情報を含めて回答してください)
- A: はい (337票/82.8%)
B: 「いいえ」又は「どちらともいえない」 (65票/16%)
C: 無回答 (5票/1.2%)



- (Q.06) Q.05で「はい」と答えた方は、理由を以下より選択してください。(複数選択可)
- A: 科目選択・履修登録に活用 (325票/68.6%)
B: 予習・復習に活用 (14票/3%)
C: 受講にあたり授業中などに活用 (33票/7%)
D: 試験・レポートに活用 (30票/6.3%)
E: その他 (0票/0%)
F: 無回答 (72票/15.2%)



大学院 前期

(Q.05) シラバスを活用（使用）しましたか。

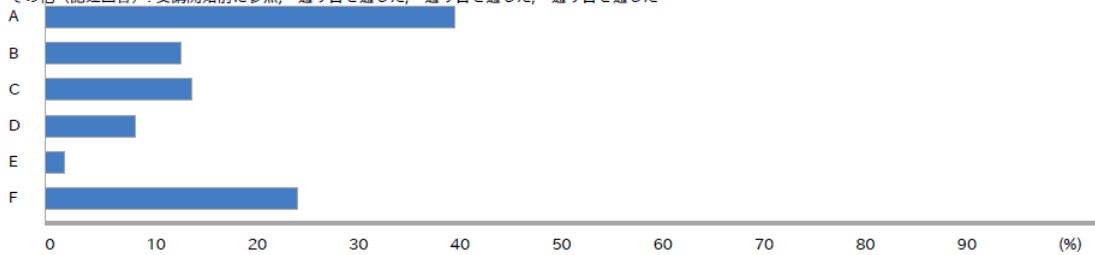
(オンライン授業の導入に伴い、文書・口頭によりシラバス情報の変更が周知された場合には、変更後の情報を含めて回答してください)

- A: はい (102票/66.7%)
 B: 「いいえ」又は「どちらともいえない」 (49票/32%)
 C: 無回答 (2票/1.3%)



(Q.06) Q.05で「はい」と答えた方は、理由を以下より選択してください。(複数選択可)

- A: 科目選択・履修登録に活用 (81票/38.8%)
 B: 予習・復習に活用 (27票/12.9%)
 C: 受講にあたり授業中などに活用 (29票/13.9%)
 D: 試験・レポートに活用 (18票/8.6%)
 E: その他 (4票/1.9%)
 F: 無回答 (50票/23.9%)
 その他 (記述回答): 受講開始前に参照,一通り目を通した,一通り目を通した,一通り目を通した



大学院 後期

(Q.05) シラバスを活用（使用）しましたか。

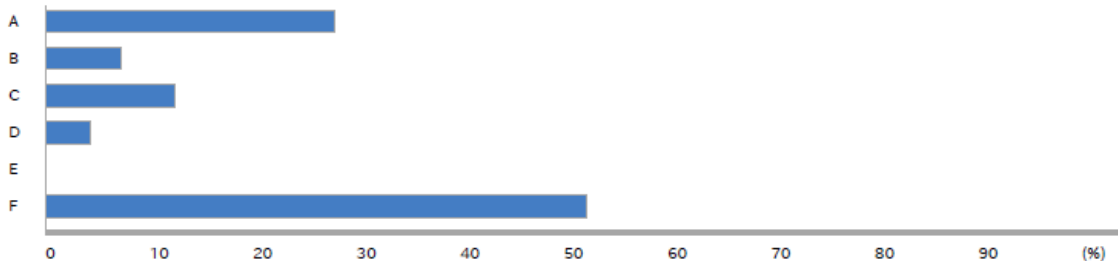
(オンライン授業の導入に伴い、文書・口頭によりシラバス情報の変更が周知された場合には、変更後の情報を含めて回答してください)

- A: はい (56票/44.4%)
 B: 「いいえ」又は「どちらともいえない」 (70票/55.6%)
 C: 無回答 (0票/0%)



(Q.06) Q.05で「はい」と答えた方は、理由を以下より選択してください。(複数選択可)

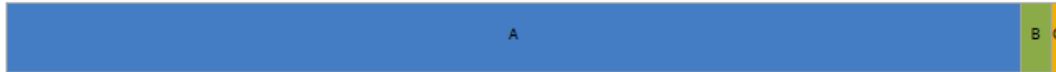
- A: 科目選択・履修登録に活用 (38票/26.8%)
 B: 予習・復習に活用 (10票/7%)
 C: 受講にあたり授業中などに活用 (17票/12%)
 D: 試験・レポートに活用 (6票/4.2%)
 E: その他 (0票/0%)
 F: 無回答 (71票/50%)



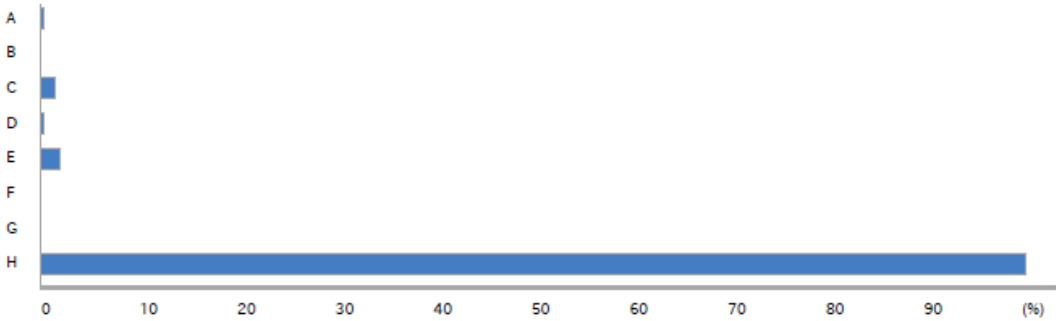
Q07 Q08

学部 前期

- (Q.07) シラバスの情報は十分なものでしたか。(シラバス活用の有無等に問わず回答してください。)
 (オンライン授業の導入に伴い、文書・口頭によりシラバス情報の変更が周知された場合には、変更後の情報を含めて回答してください)
- A: はい (464票/95.9%)
 B: いいえ (14票/2.9%)
 C: 無回答 (6票/1.2%)

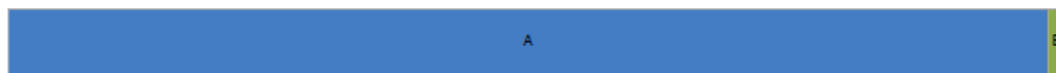


- (Q.08) Q.07で「いいえ」と答えた方は、何が不十分と思ったかを選択してください。(複数選択可)
- A: 「授業の概要・目的」の情報 (1票/0.2%)
 B: 「到達目標」の情報 (0票/0%)
 C: 「授業計画と内容」の情報 (7票/1.4%)
 D: 「履修要件」の情報 (1票/0.2%)
 E: 「成績評価の方法・観点及び達成度」の情報 (9票/1.8%)
 F: 「教科書」及び「参考書等」の情報 (0票/0%)
 G: 「その他」の情報 (0票/0%)
 H: 無回答 (471票/96.3%)

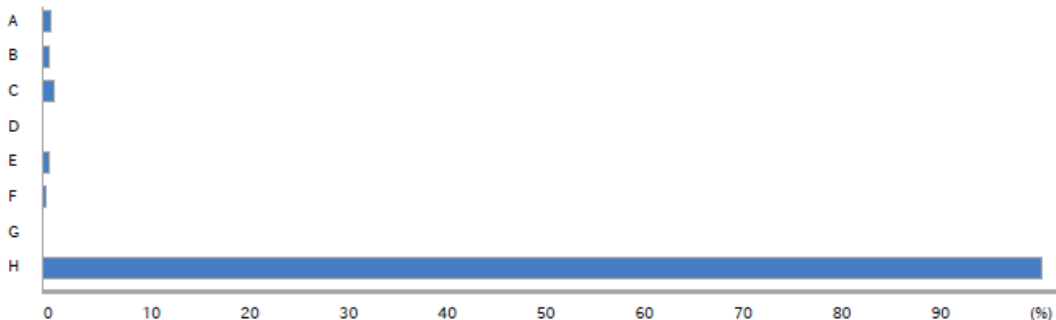


学部 後期

- (Q.07) シラバスの情報は十分なものでしたか。(シラバス活用の有無等に問わず回答してください。)
 (オンライン授業の導入に伴い、文書・口頭によりシラバス情報の変更が周知された場合には、変更後の情報を含めて回答してください)
- A: はい (398票/97.8%)
 B: いいえ (6票/1.5%)
 C: 無回答 (3票/0.7%)



- (Q.08) Q.07で「いいえ」と答えた方は、何が不十分と思ったかを選択してください。(複数選択可)
- A: 「授業の概要・目的」の情報 (3票/0.7%)
 B: 「到達目標」の情報 (2票/0.5%)
 C: 「授業計画と内容」の情報 (4票/1%)
 D: 「履修要件」の情報 (0票/0%)
 E: 「成績評価の方法・観点及び達成度」の情報 (2票/0.5%)
 F: 「教科書」及び「参考書等」の情報 (1票/0.2%)
 G: 「その他」の情報 (0票/0%)
 H: 無回答 (401票/97.1%)

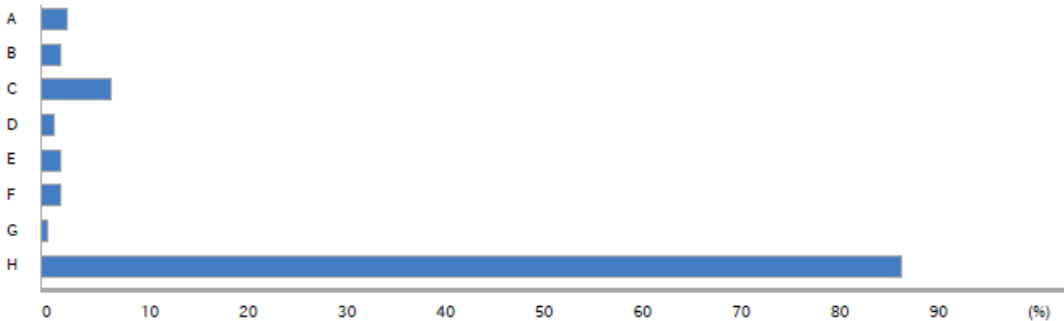


大学院 前期

- (Q.07) シラバスの情報は十分なものでしたか。(シラバス活用の有無等に依らず回答してください。)
 (オンライン授業の導入に伴い、文書・口頭によりシラバス情報の変更が周知された場合には、変更後の情報を含めて回答してください)
- A: はい (136票/89.5%)
 B: いいえ (14票/9.2%)
 C: 無回答 (2票/1.3%)

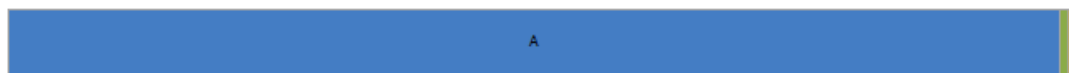


- (Q.08) Q.07で「いいえ」と答えた方は、何が不十分と思ったかを選択してください。(複数選択可)
- A: 「授業の概要・目的」の情報 (4票/2.4%)
 B: 「到達目標」の情報 (3票/1.8%)
 C: 「授業計画と内容」の情報 (11票/6.7%)
 D: 「履修要件」の情報 (2票/1.2%)
 E: 「成績評価の方法・観点及び達成度」の情報 (3票/1.8%)
 F: 「教科書」及び「参考書等」の情報 (3票/1.8%)
 G: 「その他」の情報 (1票/0.6%)
 H: 無回答 (138票/83.6%)

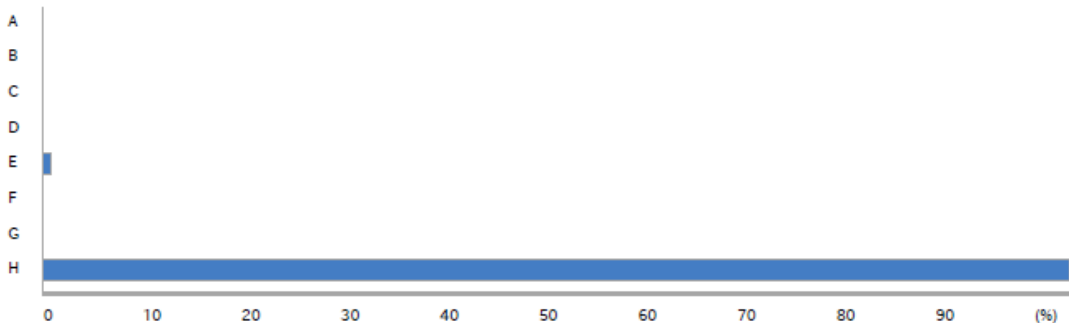


大学院 後期

- (Q.07) シラバスの情報は十分なものでしたか。(シラバス活用の有無等に依らず回答してください。)
 (オンライン授業の導入に伴い、文書・口頭によりシラバス情報の変更が周知された場合には、変更後の情報を含めて回答してください)
- A: はい (124票/98.4%)
 B: いいえ (1票/0.8%)
 C: 無回答 (1票/0.8%)



- (Q.08) Q.07で「いいえ」と答えた方は、何が不十分と思ったかを選択してください。(複数選択可)
- A: 「授業の概要・目的」の情報 (0票/0%)
 B: 「到達目標」の情報 (0票/0%)
 C: 「授業計画と内容」の情報 (0票/0%)
 D: 「履修要件」の情報 (0票/0%)
 E: 「成績評価の方法・観点及び達成度」の情報 (1票/0.8%)
 F: 「教科書」及び「参考書等」の情報 (0票/0%)
 G: 「その他」の情報 (0票/0%)
 H: 無回答 (125票/99.2%)



Q10 当該科目の出席回数

学部 前期

(Q.10) 当該科目の授業に出席した割合(%)を選択してください。

(注)「授業に出席した時間」と「授業外学習時間」の区別がしづらい場合には、1週間当たり1.5時間分を「授業に出席した時間」とみなしてください。

- A: 0~19%程度 (2票/0.4%)
- B: 20~39%程度 (4票/0.8%)
- C: 40~59%程度 (3票/0.6%)
- D: 60~79%程度 (21票/4.3%)
- E: 80~99%程度 (98票/20.2%)
- F: 100% (353票/72.9%)
- G: 無回答 (3票/0.6%)



学部 後期

(Q.10) 当該科目の授業に出席した割合(%)を選択してください。

(注)「授業に出席した時間」と「授業外学習時間」の区別がしづらい場合には、1週間当たり1.5時間分を「授業に出席した時間」とみなしてください。

- A: 0~19%程度 (2票/0.5%)
- B: 20~39%程度 (1票/0.2%)
- C: 40~59%程度 (2票/0.5%)
- D: 60~79%程度 (23票/5.7%)
- E: 80~99%程度 (144票/35.4%)
- F: 100% (232票/57%)
- G: 無回答 (3票/0.7%)



大学院 前期

(Q.10) 当該科目の授業に出席した割合(%)を選択してください。

(注)「授業に出席した時間」と「授業外学習時間」の区別がしづらい場合には、1週間当たり1.5時間分を「授業に出席した時間」とみなしてください。

- A: 0~19%程度 (2票/1.3%)
- B: 20~39%程度 (0票/0%)
- C: 40~59%程度 (0票/0%)
- D: 60~79%程度 (1票/0.7%)
- E: 80~99%程度 (13票/8.6%)
- F: 100% (136票/89.5%)
- G: 無回答 (0票/0%)



大学院 後期

(Q.10) 当該科目の授業に出席した割合(%)を選択してください。

(注)「授業に出席した時間」と「授業外学習時間」の区別がしづらい場合には、1週間当たり1.5時間分を「授業に出席した時間」とみなしてください。

- A: 0~19%程度 (0票/0%)
- B: 20~39%程度 (0票/0%)
- C: 40~59%程度 (0票/0%)
- D: 60~79%程度 (0票/0%)
- E: 80~99%程度 (18票/14.3%)
- F: 100% (108票/85.7%)
- G: 無回答 (0票/0%)

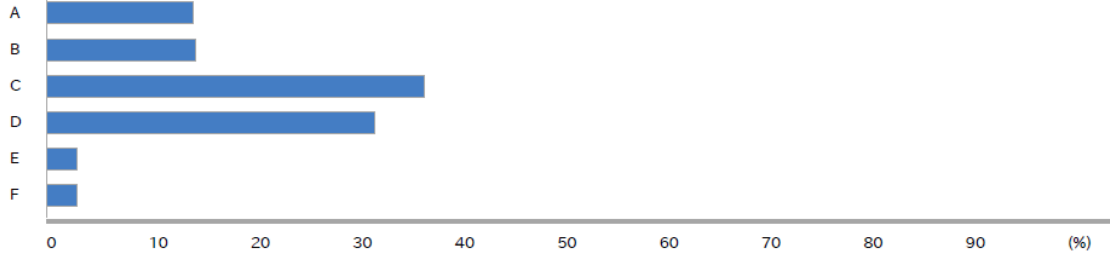


Q11 当該科目の学習時間

学部 前期

(Q.11) 当該科目に係る予習・復習、宿題・課題等を行った合計の時間（1週間当たりの平均値）を記載してください。「授業に出席した時間」と「授業外学習時間」の区別がしづらい場合には、1週間当たり1.5時間分を「授業に出席した時間」、それ以外を「授業外学習時間」とみなしてください。

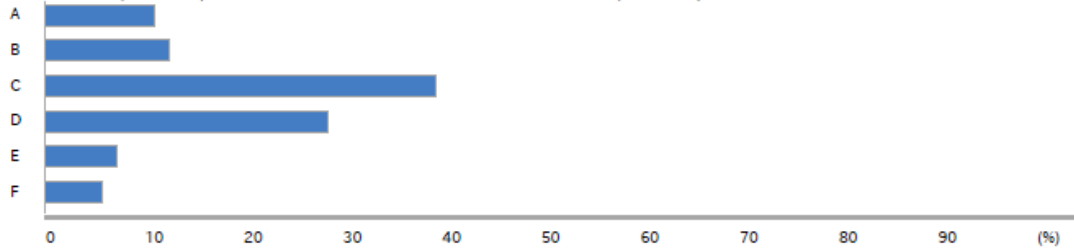
- A: 3時間以上 (67票/13.8%) B: 2時間以上3時間未満 (68票/14%)
 C: 1時間以上2時間未満 (172票/35.5%) D: 0.5時間以上1時間未満 (149票/30.8%)
 E: 0.5時間未満 (14票/2.9%) F: 無回答 (14票/2.9%)



学部 後期

(Q.11) 当該科目に係る予習・復習、宿題・課題等を行った合計の時間（1週間当たりの平均値）を記載してください。「授業に出席した時間」と「授業外学習時間」の区別がしづらい場合には、1週間当たり1.5時間分を「授業に出席した時間」、それ以外を「授業外学習時間」とみなしてください。

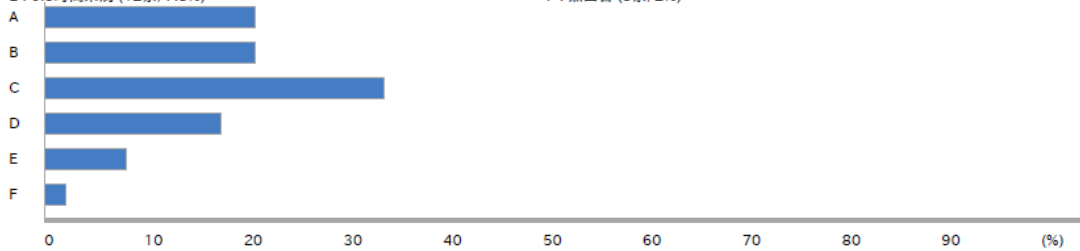
- A: 3時間以上 (43票/10.6%) B: 2時間以上3時間未満 (49票/12%)
 C: 1時間以上2時間未満 (154票/37.8%) D: 0.5時間以上1時間未満 (111票/27.3%)
 E: 0.5時間未満 (28票/6.9%) F: 無回答 (22票/5.4%)



大学院 前期

(Q.11) 当該科目に係る予習・復習、宿題・課題等を行った合計の時間（1週間当たりの平均値）を記載してください。「授業に出席した時間」と「授業外学習時間」の区別がしづらい場合には、1週間当たり1.5時間分を「授業に出席した時間」、それ以外を「授業外学習時間」とみなしてください。

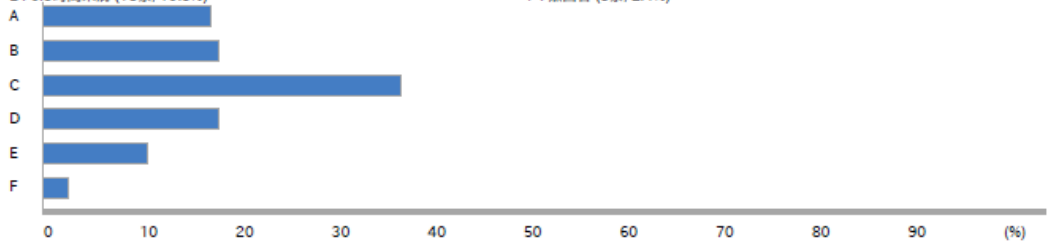
- A: 3時間以上 (31票/20.3%) B: 2時間以上3時間未満 (31票/20.3%)
 C: 1時間以上2時間未満 (50票/32.7%) D: 0.5時間以上1時間未満 (26票/17%)
 E: 0.5時間未満 (12票/7.8%) F: 無回答 (3票/2%)



大学院 後期

(Q.11) 当該科目に係る予習・復習、宿題・課題等を行った合計の時間（1週間当たりの平均値）を記載してください。「授業に出席した時間」と「授業外学習時間」の区別がしづらい場合には、1週間当たり1.5時間分を「授業に出席した時間」、それ以外を「授業外学習時間」とみなしてください。

- A: 3時間以上 (21票/16.7%) B: 2時間以上3時間未満 (22票/17.5%)
 C: 1時間以上2時間未満 (45票/35.7%) D: 0.5時間以上1時間未満 (22票/17.5%)
 E: 0.5時間未満 (13票/10.3%) F: 無回答 (3票/2.4%)



Q12 Q13

学部 前期

(Q.12) この授業の到達目標に照らして達成できたかどうか、ご自身の判断を以下より1つ選択してください。

(教育学部シラバス) <https://www.kyoto-u.ac.jp/student/u/ed/syllabus/top>

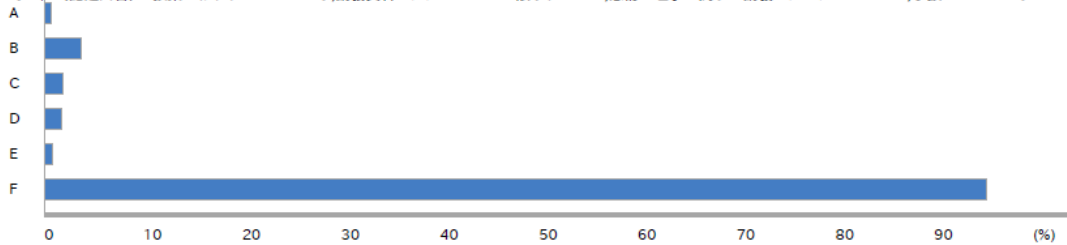
- A: 十分達成 (目安: 概ね9割以上達成) (133票/27.5%)
- B: ほぼ達成 (目安: 概ね8割以上~9割未満達成) (307票/63.4%)
- C: やや達成できなかった (目安: 概ね6割以上~8割未満達成) (31票/6.4%)
- D: 達成できなかった (目安: 概ね6割未満達成) (7票/1.4%)
- E: どちらともいえない(判断できない) (2票/0.4%)
- F: 無回答 (4票/0.8%)



(Q.13) 学習の達成度が「達成できなかった」又は「やや達成できなかった」の場合は、達成できなかった理由を、以下より選択してください。(複数選択可)

- A: 授業の進度が速かったため (3票/0.6%)
- B: 予習・復習に十分時間を取ることができなかったため (17票/3.5%)
- C: 説明がわかりにくかったため (9票/1.8%)
- D: 特になし (8票/1.6%)
- E: その他 (4票/0.8%)
- F: 無回答 (446票/91.4%)

その他 (記述回答): 授業が行われなかったから,講義資料がほぼレジュメに限られていた,感情心理学に関する講義はほとんどなかった,手抜きだったから



学部 後期

(Q.12) この授業の到達目標に照らして達成できたかどうか、ご自身の判断を以下より1つ選択してください。

(教育学部シラバス) <https://www.kyoto-u.ac.jp/student/u/ed/syllabus/top>

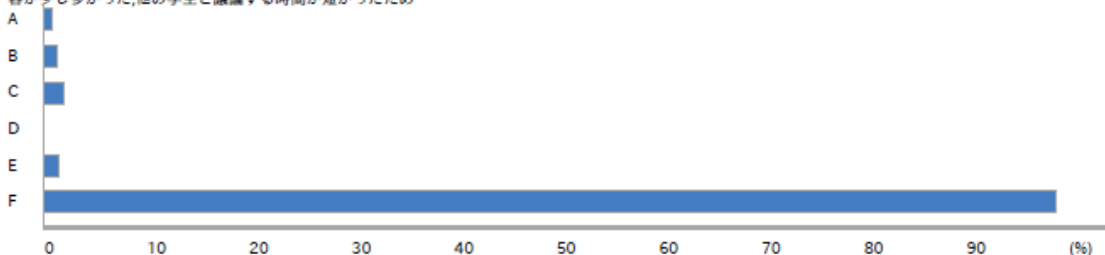
- A: 十分達成 (目安: 概ね9割以上達成) (161票/39.6%)
- B: ほぼ達成 (目安: 概ね8割以上~9割未満達成) (221票/54.3%)
- C: やや達成できなかった (目安: 概ね6割以上~8割未満達成) (10票/2.5%)
- D: 達成できなかった (目安: 概ね6割未満達成) (5票/1.2%)
- E: どちらともいえない(判断できない) (7票/1.7%)
- F: 無回答 (3票/0.7%)



(Q.13) 学習の達成度が「達成できなかった」又は「やや達成できなかった」の場合は、達成できなかった理由を、以下より選択してください。(複数選択可)

- A: 授業の進度が速かったため (3票/0.7%)
- B: 予習・復習に十分時間を取ることができなかったため (5票/1.2%)
- C: 説明がわかりにくかったため (8票/1.9%)
- D: 特になし (0票/0%)
- E: その他 (6票/1.4%)
- F: 無回答 (392票/94.7%)

その他 (記述回答): 予備知識が不足していたため,努力・勉強不足,課題が多すぎて、課題をこなすことが主眼に,あまりにも生徒に進行が任されていたから,内容が少し多かった,他の学生と議論する時間が短かったため



大学院 前期

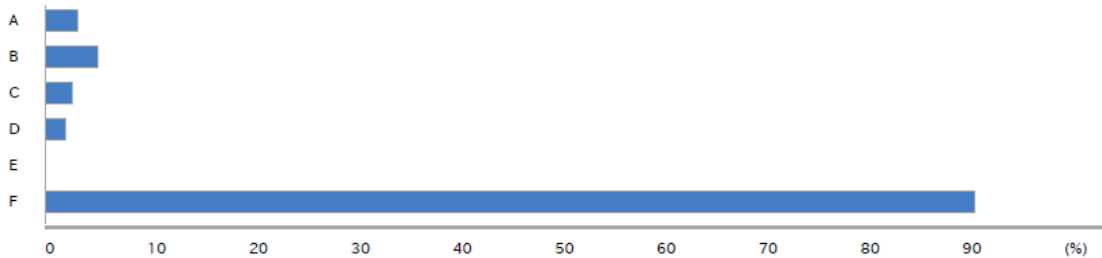
(Q.12) この授業の到達目標に照らして達成できたかどうか、ご自身の判断を以下より1つ選択してください。
(教育学研究科シラバス) <https://www.k.kyoto-u.ac.jp/student/g/ed/syllabus/top>

- A: 十分達成 (目安: 概ね9割以上達成) (40票/26.1%)
- B: ほぼ達成 (目安: 概ね8割以上~9割未満達成) (86票/56.2%)
- C: やや達成できなかった (目安: 概ね6割以上~8割未満達成) (14票/9.2%)
- D: 達成できなかった目安: (概ね6割未満達成) (1票/0.7%)
- E: どちらともいえない(判断できない) (12票/7.8%)
- F: 無回答 (0票/0%)



(Q.13) 学習の達成度が「達成できなかった」又は「やや達成できなかった」の場合は、達成できなかった理由を、以下より選択してください。(複数選択可)

- A: 授業の進度が速かったため (5票/3.1%)
- B: 予習・復習に十分時間を取ることができなかったため (8票/5%)
- C: 説明がわかりにくかったため (4票/2.5%)
- D: 特になし☑ (3票/1.9%)
- E: その他 (0票/0%)
- F: 無回答 (139票/87.4%)



大学院 後期

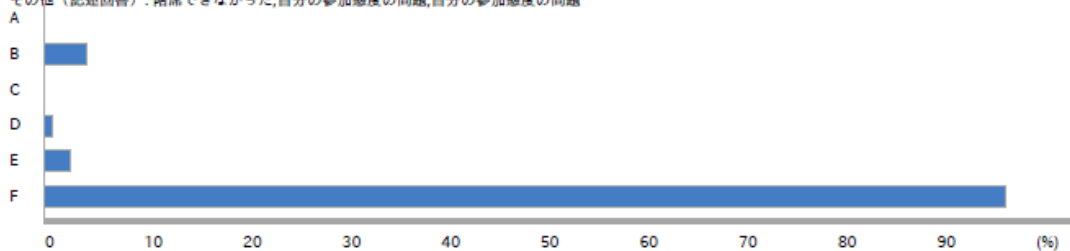
(Q.12) この授業の到達目標に照らして達成できたかどうか、ご自身の判断を以下より1つ選択してください。
(教育学研究科シラバス) <https://www.k.kyoto-u.ac.jp/student/g/ed/syllabus/top>

- A: 十分達成 (目安: 概ね9割以上達成) (49票/38.9%)
- B: ほぼ達成 (目安: 概ね8割以上~9割未満達成) (61票/48.4%)
- C: やや達成できなかった (目安: 概ね6割以上~8割未満達成) (9票/7.1%)
- D: 達成できなかった目安: (概ね6割未満達成) (0票/0%)
- E: どちらともいえない(判断できない) (6票/4.8%)
- F: 無回答 (1票/0.8%)



(Q.13) 学習の達成度が「達成できなかった」又は「やや達成できなかった」の場合は、達成できなかった理由を、以下より選択してください。(複数選択可)

- A: 授業の進度が速かったため (0票/0%)
 - B: 予習・復習に十分時間を取ることができなかったため (5票/4%)
 - C: 説明がわかりにくかったため (0票/0%)
 - D: 特になし☑ (1票/0.8%)
 - E: その他 (3票/2.4%)
 - F: 無回答 (117票/92.9%)
- その他 (記述回答): 出席できなかった, 自分の参加態度の問題, 自分の参加態度の問題

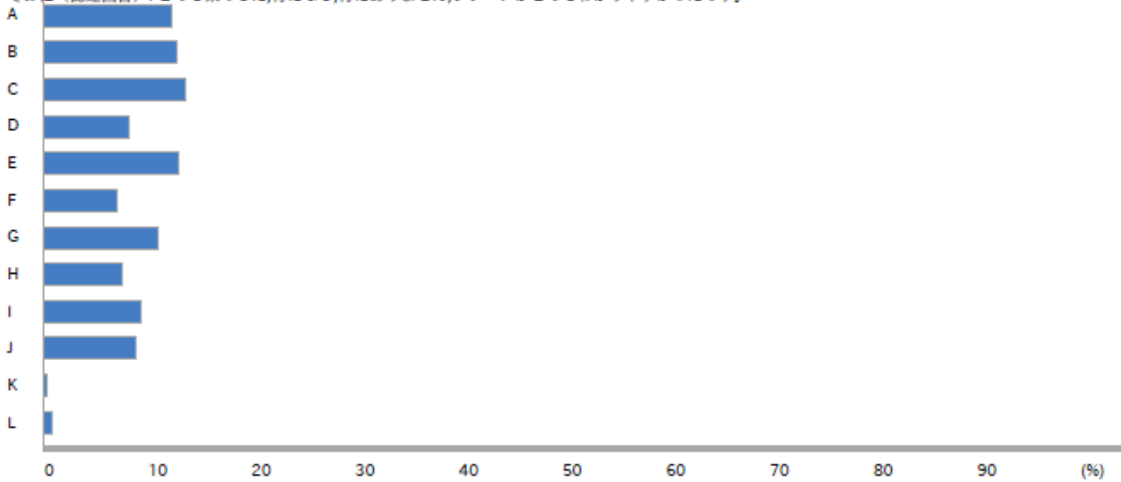


Q15

学部 前期

- (Q.15) この授業でよかった点を選択してください。(複数選択可)
- A: 授業に意欲的に参加できる工夫がされていた (253票/11.8%)
 - B: 授業に対する教員の熱意が感じられた (262票/12.2%)
 - C: 授業は体系的であり、よくまとまっていた (279票/13%)
 - D: 授業はシラバスに沿って授業が行われていた (168票/7.8%)
 - E: 教員の声はよく聞き取れた (266票/12.4%)
 - F: 板書の文字や機器による提示が見やすかった (144票/6.7%)
 - G: 教材(教科書・配付資料等)は適切だった (227票/10.6%)
 - H: 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められていた (154票/7.2%)
 - I: 自主的な学習を促すための工夫や補足説明があった (193票/9%)
 - J: この授業を通じて、知的な問題に取り組む力が向上した (182票/8.5%)
 - K: その他 (4票/0.2%)
 - L: 無回答 (18票/0.8%)

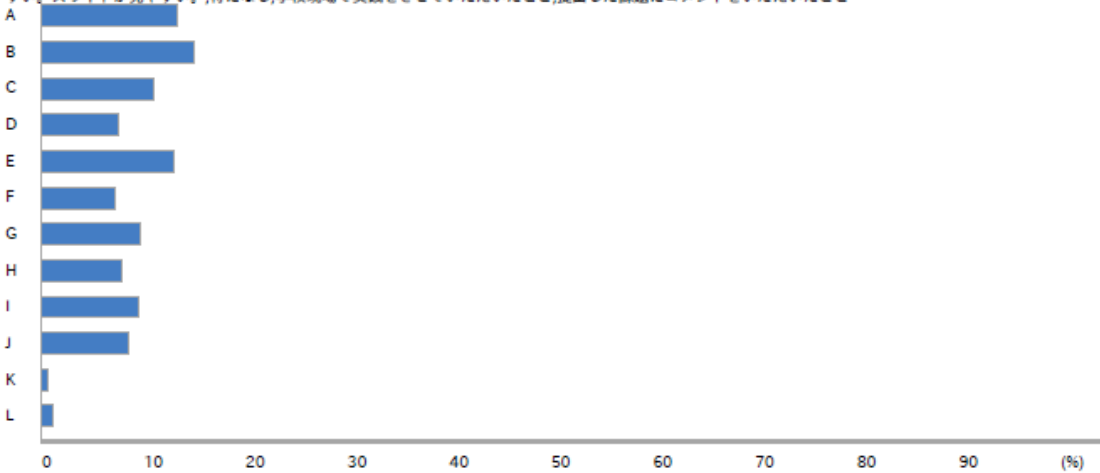
その他(記述回答): とても楽でした,特になし,特にありません,レジュメがとてもわかりやすかったです。



学部 後期

- (Q.15) この授業でよかった点を選択してください。(複数選択可)
- A: 授業に意欲的に参加できる工夫がされていた (223票/12.7%)
 - B: 授業に対する教員の熱意が感じられた (252票/14.4%)
 - C: 授業は体系的であり、よくまとまっていた (185票/10.6%)
 - D: 授業はシラバスに沿って授業が行われていた (126票/7.2%)
 - E: 教員の声はよく聞き取れた (219票/12.5%)
 - F: 板書の文字や機器による提示が見やすかった (121票/6.9%)
 - G: 教材(教科書・配付資料等)は適切だった (163票/9.3%)
 - H: 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められていた (133票/7.6%)
 - I: 自主的な学習を促すための工夫や補足説明があった (160票/9.1%)
 - J: この授業を通じて、知的な問題に取り組む力が向上した (143票/8.2%)
 - K: その他 (8票/0.5%)
 - L: 無回答 (18票/1%)

その他(記述回答): 自主的に意見を発する機会が設けられていた,なし,説明がわかりやすい。スライドが見やすい。geogebraの使い方の説明,説明がわかりやすい。スライドが見やすい。特になし,学校現場で実践をさせていただいたこと,提出した課題にコメントをいただいたこと

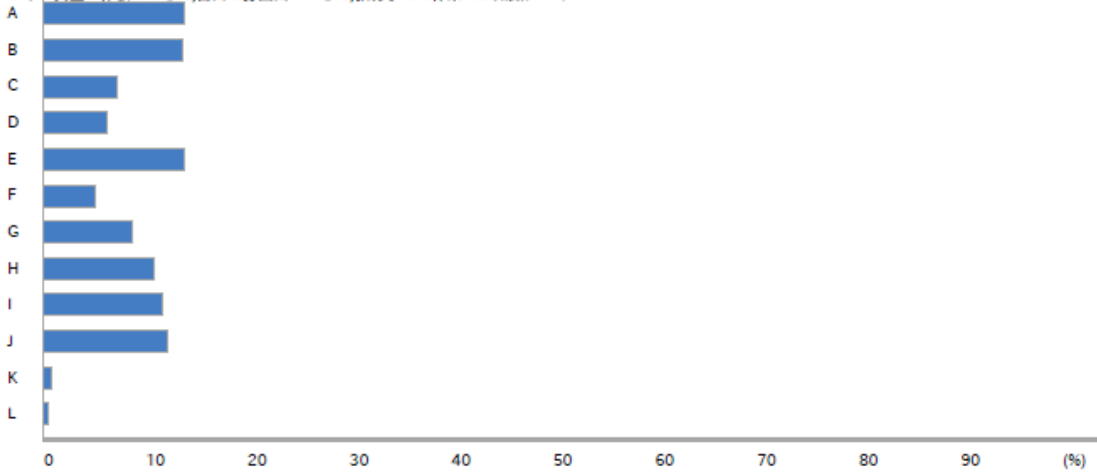


大学院 前期

(Q.15) この授業でよかった点を選択してください。(複数選択可)

- A: 授業に意欲的に参加できる工夫がされていた (98票/13.2%)
- B: 授業に対する教員の熱意が感じられた (97票/13%)
- C: 授業は体系的であり、よくまとまっていた (51票/6.9%)
- D: 授業はシラバスに沿って授業が行われていた (45票/6%)
- E: 教員の声はよく聞き取れた (99票/13.3%)
- F: 板書の文字や機器による提示が見やすかった (36票/4.8%)
- G: 教材 (教科書・配付資料等) は適切だった (62票/8.3%)
- H: 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められていた (77票/10.3%)
- I: 自主的な学習を促すための工夫や補足説明があった (83票/11.2%)
- J: この授業を通じて、知的な問題に取り組む力が向上した (87票/11.7%)
- K: その他 (6票/0.8%)
- L: 無回答 (3票/0.4%)

その他 (記述回答): 学生どうしのディスカッションができた,個人の研究と授業内容の関連が尊重された,講義形式でないのの上記項目は当たらない,ロールプレイで貴重な体験ができた,自由な雰囲気であった,教育学的な体系的な知識、スキル

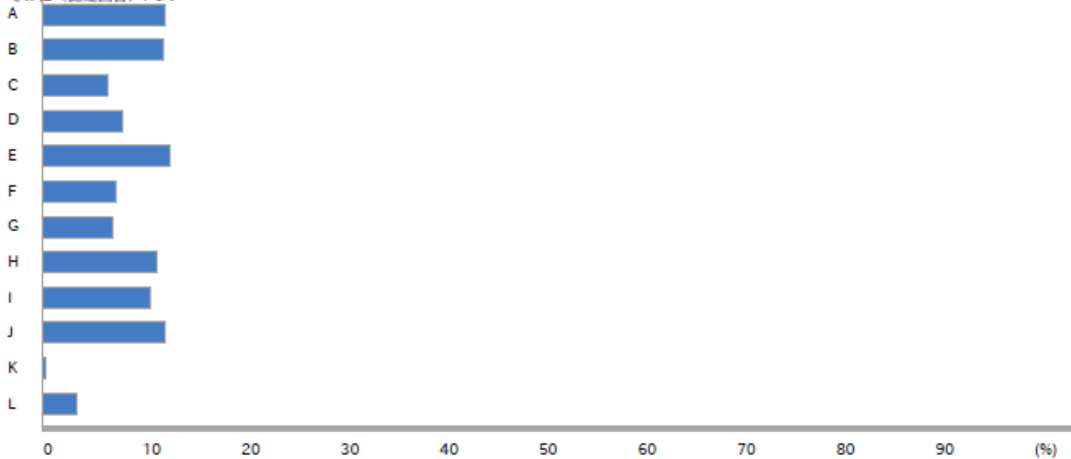


大学院 後期

(Q.15) この授業でよかった点を選択してください。(複数選択可)

- A: 授業に意欲的に参加できる工夫がされていた (61票/11.8%)
- B: 授業に対する教員の熱意が感じられた (60票/11.6%)
- C: 授業は体系的であり、よくまとまっていた (32票/6.2%)
- D: 授業はシラバスに沿って授業が行われていた (40票/7.7%)
- E: 教員の声はよく聞き取れた (63票/12.2%)
- F: 板書の文字や機器による提示が見やすかった (36票/7%)
- G: 教材 (教科書・配付資料等) は適切だった (35票/6.8%)
- H: 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められていた (57票/11%)
- I: 自主的な学習を促すための工夫や補足説明があった (54票/10.4%)
- J: この授業を通じて、知的な問題に取り組む力が向上した (61票/11.8%)
- K: その他 (1票/0.2%)
- L: 無回答 (17票/3.3%)

その他 (記述回答): ない



Q16

学部 前期

(Q.16) この授業は全体として満足できる内容でしたか。
 A: 十分満足 (278票/57.4%)
 B: ほぼ満足 (146票/30.2%)
 C: どちらともいえない(判断できない) (33票/6.8%)
 D: やや不満 (14票/2.9%)
 E: 不満 (8票/1.7%)
 F: 無回答 (5票/1%)



学部 後期

(Q.16) この授業は全体として満足できる内容でしたか。
 A: 十分満足 (237票/58.2%)
 B: ほぼ満足 (114票/28%)
 C: どちらともいえない(判断できない) (25票/6.1%)
 D: やや不満 (10票/2.5%)
 E: 不満 (12票/2.9%)
 F: 無回答 (9票/2.2%)



大学院 前期

(Q.16) この授業は全体として満足できる内容でしたか。
 A: 十分満足 (85票/55.6%)
 B: ほぼ満足 (42票/27.5%)
 C: どちらともいえない(判断できない) (17票/11.1%)
 D: やや不満 (7票/4.6%)
 E: 不満 (2票/1.3%)
 F: 無回答 (0票/0%)



大学院 後期

(Q.16) この授業は全体として満足できる内容でしたか。
 A: 十分満足 (68票/54%)
 B: ほぼ満足 (37票/29.4%)
 C: どちらともいえない(判断できない) (17票/13.5%)
 D: やや不満 (3票/2.4%)
 E: 不満 (1票/0.8%)
 F: 無回答 (0票/0%)



■ 4. おわりに

本報告は、教育学部・教育学研究科において 2020 年度に開講された全科目を対象に実施した授業評価アンケートの結果です。授業アンケートシステム・KULIQS（クリックス）を用いて実施された 6 回目の調査であり、調査項目の提示方法や回答方法などは、前年度までの形を踏襲しています（オンライン授業の導入に伴い、一部にそれに応じた文言が追加されました）。事務局教職教務掛の皆さまには、調査の作成から実施、集計に至るまで、さまざまな局面でご支援をいただきました。あらためて心から御礼を申し上げます。

アンケート結果の基本的な傾向は従来とほぼ同様で、大きな変化は確認されませんでした。1) 学部生は大部分（約 80%）がシラバスを利用し（大学院生の利用は 50%前後）、その情報にも満足しています。2) 学部生は 90%程度、大学院生は 100%近くが、80%以上の授業に出席していました。3) 授業の目標を「十分達成」「ほぼ達成」と回答した割合は、学部生は 90%以上と昨年度よりも若干増えました。大学院では自身への評価が厳しくなり、昨年同様 80%台ですが、全体として十分な研鑽の様子がうかがえます。4) 授業に「十分満足」「ほぼ満足」と回答した割合は、学部・大学院とも 80%台であり、高い水準を維持しています。こうしたなか、5) 「予習・復習などの学習時間」については、昨年度、多くの学部生が 1 時間未満であったという実態が懸念されていましたが、今年度は、学部生において 1 時間以上の回答が 60%前後まで増加したことが特筆されます。他方で大学院生では、もともと 1 時間以上が 60%程度を占めていた点に変化はありませんが、そのうち、半数近くに上っていた 3 時間以上との回答が減少し、3 分の 1 未満となりました。

さて、これらの事項とは別に、昨年度において注目されるのは、新型コロナウイルス感染拡大のもとでのオンライン授業に対する意見です（上述した学部生の予復習時間の増加も、オンライン授業によって在宅時間が増えたことや、授業時間と授業外時間の区別がしづらいケースが生じたことと関係している可能性があります。本アンケートのみから因果関係を断定することはできません）。これらは、主として自由記述に表われたものであり、§2.1 に述べたとおり、本報告書本文では自由記述の具体的な内容には触れないこととなっておりますが、困難な状況下で教員が行った努力への積極的な評価もあれば、科目により、双方向性の不足に対する不満も散見されるなど、全体として意見が多様であったことは、記しておきたいと思います。また、オンライン上でのブレイクアウトセッションのような工夫についても、コミュニケーションの機会を増やす貴重な場との受け止め方もあれば、受講環境が整わない（周りに家族がいることなど）による難しさを指摘する声もありました。

昨年度の事態は、学生にとっても教員にとっても未曾有のものであり、各自が必死の対応を迫られた 1 年でした。オンライン授業は少なくとも部分的に、今後も続く可能性があります。経験を積み、学生の声に真摯に耳を傾けながら、新しい方式に習熟し、さらなる充実を図るためにも、授業評価アンケートを継続的に実施し、活用していきたいと考えております。

2021 年度 教育学研究科自己点検・評価委員会
佐野真由子・広瀬悠三・高橋雄介